

事業整理シート

事業名	消防本部車両等更新整備事業	整理番号	3202-020		
所管	消防本部 警防課	予算款項目	広域行政組合 一般会計	4	1

●事業の種類と位置付け

事業期間	2023年度 (令和5年度)	～	2025年度 (令和7年度)	根拠法令・要綱等
基本計画における位置付け	施策番号:	3-2-2	施策名:	消防力の強化
	関連施策:	7-7-2	施策名:	広域行政体制の充実・強化
個別計画での位置付け	消防車両等整備計画			
SDGsでの位置付け	目標3	すべての人に健康と福祉を		
	目標11	住み続けられるまちづくりを		
国土強靱化計画における位置付け	b-3	自衛隊、警察、消防等の被災等による救助・救急活動等の絶対的不足		



3 すべての人に健康と福祉を



11 住み続けられるまちづくりを

●事業の内容

目的	住民の生命、身体、財産の保護と被害の軽減を図る。
対象	御殿場市・小山町全域
手段	消防車両更新計画に基づき、救助工作車、救急車、水槽付消防ポンプ自動車の更新及び無人航空機(ドローン)整備
令和3年度末までの事業実施状況	御殿場消防署消防ポンプ、御殿場消防署救急自動車及びはしご付消防ポンプ自動車を更新
事業の背景・住民意見の反映	災害時における住民の生命、身体、財産の保護及び救命率の向上を目指している。
事業の評価と改善 (R3→R4)	消防車両等更新計画に基づき計画的に更新しているが、緊急度、優先度を検討し更新を進める。

●事業計画 (単位：千円)

		令和5年度	令和6年度	令和7年度	計
事業内容		<ul style="list-style-type: none"> ・御殿場消防署救助工作車 (御殿場救助1) ・須走分署高規格救急車 (小山救急3号車) ・消防本部連絡車 (アトレー) 	<ul style="list-style-type: none"> ・富士岡分署 水槽付消防ポンプ自動車 (御殿場3号車) ・小山消防署高規格救急車 (小山救急1号車) ・無人航空機整備事業 (ドローン) 	<ul style="list-style-type: none"> ・小山消防署 水槽付消防ポンプ自動車 (小山1号車) ・富士岡分署高規格救急車 (御殿場救急3号車) 	/
	事業費	190,000	116,000	106,000	412,000
財源内訳	国補	14,818	14,525	14,818	44,161
	防衛	50,142		20,185	70,327
	県補	4,938	18,174	4,938	28,050
	市債	116,200	75,500	64,100	255,800
	財繰				0
	負担				0
	小山寄付	937	1,873	470	3,280
	その他				0
一般	2,965	5,928	1,489	10,382	

事業整理シート

事業名	富士岡分署整備事業	整理番号	3202-080		
所管	消防本部 管理課	予算款項目	広域行政組合 一般会計	4	1

●事業の種類と位置付け

事業期間	2024年度 (令和6年度)	～		根拠法令・要綱等	消防組織法第1条・耐用年数省令
基本計画における位置付け	施策番号:	3-2-2	施策名:	消防力の強化	
	関連施策:	3-2-3	施策名:	救急・救助体制の整備	
個別計画での位置付け	御殿場市・小山町広域行政組合公共施設総合管理計画				
SDGsでの位置付け	目標11	住み続けられるまちづくりを			
	国土強靱化計画における位置付け	b-9	災害救助における活動拠点、資機材等の不足		

●事業の内容

目的	富士岡分署庁舎の新築移転事業を行い、地域住民の安心・安全を確保するとともに、消防職員の安全管理と衛生管理の確保を図る。
対象	地域住民(御殿場市・小山町)・消防職員
手段	富士岡分署庁舎を新築移転する。
令和3年度末までの事業実施状況	公共施設総合管理計画で、間もなく法定耐用年数を迎えるため最優先で建て替えが必要な施設。
事業の背景・住民意見の反映	富士岡分署庁舎は昭和51年建築で40年以上経過しており、老朽化による施設の不具合が多数生じている。所在地が市街地であるので、周辺住民に対し災害時の緊急自動車の走行やサイレン吹鳴に細心の注意を図りながら出動している。
事業の評価と改善 (R3→R4)	住民サービスを考慮した富士岡分署建設用地確保を検討中だが、その間は既存地の賃貸借延長を行う。

●事業計画 (単位：千円)

		令和5年度	令和6年度	令和7年度	計
事業内容	<ul style="list-style-type: none"> ・基本計画 ・用地測量 ・造成設計 	<ul style="list-style-type: none"> ・造成工事監理委託 ・用地造成工事 ・基本・実施設計 	<ul style="list-style-type: none"> ・建築工事 ・建築監理委託 ・外構工事 ・備品等購入 ・指令装置等移設 ・解体設計 		
事業費	9,000	158,200	1,423,900	1,591,100	
財源内訳	国補				0
	防衛				0
	県補				0
	市債		117,000	1,014,000	1,131,000
	財繰				0
	負担				0
	小山寄付			17,238	17,238
	その他				0
一般	9,000	41,200	392,662	442,862	

事業整理シート

事業名	小山消防署整備事業	整理番号	3202-100			
所管	消防本部 管理課	予算款項目	広域行政組合 一般会計	4	1	2

●事業の種類と位置付け

事業期間	2021年度 (令和3年度)	～	2024年度 (令和6年度)	根拠法令・要綱等	
基本計画における位置付け	施策番号:	3-2-2	施策名:	消防力の強化	
	関連施策:	3-2-3	施策名:	救急・救助体制の整備	
個別計画での位置付け	御殿場市・小山町広域行政組合公共施設総合管理計画				
SDGsでの位置付け	目標11	住み続けられるまちづくりを			
国土強靱化計画における位置付け	b-3	自衛隊、警察、消防等の被災等による救助・救急活動等の絶対的不足			

●事業の内容

目的	小山消防署の建替えに伴う指令装置の移設、備品等の更新及び解体工事。
対象	地域住民(御殿場市・小山町)
手段	新小山消防署の建設は小山町が負担、その他については御殿場市・小山町広域行政組合が負担し事業を実施する。
令和3年度末までの事業実施状況	小山町が所管する小山消防署新庁舎建設検討会で建設用地の検討を進め、令和3年12月には小山町で移転先の土地を取得した。
事業の背景・住民意見の反映	昭和47年に建設された小山消防署も50年が経過した。老朽化が進み度重なる修繕を行っている状況であり、平成30年度の公共施設総合管理計画において最優先で建て替えが必要となる施設とした。小山町でも小山消防署あり方検討会において議論され、消防車両や職員数の増に対応できる新庁舎の建設が必要との結論に至っている。
事業の評価と改善 (R3→R4)	小山消防署の建設については、令和3年度に用地取得、令和4年度に基本設計、令和5年度に造成・実施設計及び造成工事、令和6年度に建設工事、令和7年度に供用開始及び解体工事の計画で事業を進めていく。

●事業計画 (単位：千円)

		令和5年度	令和6年度	令和7年度	計
	事業内容		・備品等購入 ・解体設計	・指令装置移設 ・解体工事	/
	事業費		67,200	49,800	117,000
財源内訳	国補				0
	防衛				0
	県補				0
	市債			40,500	40,500
	財繰				0
	負担				0
	小山寄付		16,134	2,233	18,367
	その他				0
一般		51,066	7,067	58,133	

事業整理シート

事業名	消防本部庁舎改修事業	整理番号	3202-110		
所管	消防本部 管理課	予算款項目	広域行政組合 一般会計	4	1

●事業の種類と位置付け

事業期間	2023年度 (令和5年度)	～	2025年度 (令和7年度)	根拠法令・要綱等	消防組織法第1条・耐用年数省令
基本計画における位置付け	施策番号:	3-2-2	施策名:	消防力の強化	
	関連施策:	3-2-3	施策名:	救急・救助体制の整備	
個別計画での位置付け	御殿場市・小山町広域行政組合公共施設総合管理計画				
SDGsでの位置付け	目標11	住み続けられるまちづくりを			
	国土強靱化計画における位置付け	b-9	災害救助における活動拠点、資機材等の不足		

●事業の内容

目的	消防本部庁舎の改修を行い、地域住民の安心・安全を確保するとともに、消防職員の安全管理と衛生管理の確保を図る。
対象	地域住民(御殿場市・小山町)・消防職員
手段	消防本部庁舎の具体的な長寿命化計画を策定しを改修をする。
令和3年度末までの事業実施状況	空調や照明設備に関して、令和元年から4箇年で改修を実施した。
事業の背景・住民意見の反映	消防本部庁舎は平成6年建築で28年経過しており、建物に関し大規模な改修を実施していない。老朽化による施設の不具合が多数生じている。また建設時には想定されていなかった、様々な災害に対応する機材の増加が続いている。
事業の評価と改善 (R3→R4)	空調や照明設備に関しては、都度修繕にて対応していたが、建物の雨漏りや機材収納等抜本的な対策が必要となっている。

●事業計画 (単位：千円)

		令和5年度	令和6年度	令和7年度	計
	事業内容	消防本部庁舎 建築物調査	消防本部庁舎 非常用発電機更新 消防本部庁舎 改修設計	消防本部庁舎 改修工事	
	事業費	6,600	37,000	80,000	123,600
財源内訳	国補				0
	防衛				0
	県補				0
	市債		22,500	60,000	82,500
	財繰				0
	負担				0
	小山寄付	1,585	3,481	4,802	9,868
	その他				0
一般	5,015	11,019	15,198	31,232	

事業整理シート

事業名	高機能消防指令システム更新事業	整理番号	3202-120		
所管	消防本部 通信指令課	予算款項目	広域行政組合 一般会計	4	1

●事業の種類と位置付け

事業期間	2024年度 (令和6年度)	～	2026年度 (令和8年度)	根拠法令・要綱等	消防組織法第1条
基本計画における位置付け	施策番号:	3-2-2	施策名:	消防力の強化	
	関連施策:	7-7-2	施策名:	広域行政体制の充実・強化	
個別計画での位置付け	御殿場市・小山町広域行政組合公共施設総合管理計画				
SDGsでの位置付け	目標11	住み続けられるまちづくりを			
	国土強靱化計画における位置付け	b-3	自衛隊、警察、消防等の被災等による救助・救急活動等の絶対的不足		

●事業の内容

目的	高機能消防指令システム更新事業により、システム全般を更新するため、3か年にわたり監理業務を委託する。
対象	地域住民(御殿場市・小山町)
手段	高機能消防指令システム更新事業に伴い、監理業務設計業者に基本設計・実施設計・施行監理業務を委託する。
令和3年度末までの事業実施状況	高機能消防指令システム更新計画による監理業務について、システム設計面及び工事設計面等基本構想から発注・契約準備及びシステム構築に向けて、確認調整し資料収集等を行っている。
事業の背景・住民意見の反映	平成21年度に高機能消防指令システムが導入され、平成29年度に安定的な維持のため、情報系、指令系の延命化事業で構成機器の部分更新を行い、継続使用しているが、全てを新規更新する必要がある。
事業の評価と改善 (R3→R4)	住民サービスを考慮し、高機能消防指令システムの安定稼働を図ることにより、市町民の安全が確保でき、確実な事業完了を目指す。

●事業計画 (単位：千円)

		令和5年度	令和6年度	令和7年度	計
	事業内容		高機能消防指令システム更新事業 基本設計業務委託	高機能消防指令システム更新事業 実施設計業務委託	/
	事業費		4,900	6,500	11,400
財源内訳	国補				0
	防衛				0
	県補				0
	市債				0
	財繰				0
	負担				0
	小山寄付		1,176	1,561	2,737
	その他				0
	一般		3,724	4,939	8,663

事業整理シート

事業名	斎場火葬炉修繕事業	整理番号	5304-010		
所管	広域行政組合 庶務課	予算款項目	広域行政組合 一般会計	3	1

●事業の種類と位置付け

事業期間	2021年度 (令和3年度)	～	2024年度 (令和6年度)	根拠法令・要綱等	
基本計画における位置付け	施策番号:	5-3-4	施策名:	墓園・斎場の整備	
	関連施策:		施策名:		
個別計画での位置付け	御殿場市・小山町広域行政組合公共施設総合管理計画				
SDGsでの位置付け	目標11	住み続けられるまちづくりを			
	国土強靱化計画における位置付け				

●事業の内容

目的	斎場火葬炉主要耐火物等の整備(修繕)を行うことで、設備の延命化を図る。
対象	管内(御殿場市・小山町)及び管外利用者
手段	主燃炉、再燃炉及び共通煙道の耐火物積替え並びに付帯設備交換
令和3年度末までの事業実施状況	令和3年度に1号炉の修繕を実施した。
事業の背景・住民意見の反映	斎場改修工事後13年が経過する。火葬炉は、通常の炉に比べ温度変化が大きいため、炉が傷みやすい。そのため、10～15年に一度大規模な補修を行い、設備の延命化を図る必要がある。また、今後の火葬件数の増加が見込まれることから、1炉増設する。
事業の評価と改善(R3→R4)	公共施設総合管理計画を基に、R3年度から4か年計画で火葬炉3基と動物炉1基の修繕を順次実施していく。修繕中は、2炉体制で運営していくことになるが、斎場の運営委託先等と調整し、可能な限り支障が出ないように運営していく。また、今後は死亡者数の増に伴い、一日当たりの火葬件数の増加が見込まれることから1炉増設し対応する。

●事業計画 (単位: 千円)

		令和5年度	令和6年度	令和7年度	計
	事業内容	・4号炉の増設 (監視システム更新共) ・付帯設備交換	・2号炉の更新 ・動物炉主燃炉、再燃炉の耐火物積替並びに付帯設備交換 ・盤内計装機器の更新		
事業費		69,100	91,300		160,400
財源内訳	国補				0
	防衛				0
	県補				0
	市債	51,800	68,400		120,200
	財繰				0
	負担				0
	小山寄付	4,097	5,423		9,520
	その他				0
一般	13,203	17,477		30,680	

事業整理シート

事業名	斎場改修事業	整理番号	5304-020			
所管	広域行政組合 庶務課	予算款項目	広域行政組合 一般会計	3	1	1

●事業の種類と位置付け

事業期間	2023年度 (令和5年度)	～	2026年度 (令和8年度)	根拠法令・要綱等
基本計画における位置付け	施策番号:	5-3-4	施策名:	墓園・斎場の整備
	関連施策:		施策名:	
個別計画での位置付け	御殿場市・小山町広域行政組合公共施設総合管理計画			
SDGsでの位置付け	目標11	住み続けられるまちづくりを		
国土強靱化計画における位置付け				



●事業の内容

目的	斎場改修を行うことで、施設の長寿命化を図りつつ、市民要望への対応を図る。
対象	管内(御殿場市・小山町)及び管外利用者
手段	建物劣化診断に基づく、建物の外部改修、増設により長寿命化と利便性の向上を図る。
令和3年度末までの事業実施状況	火葬炉の耐火物積替え並びに付帯設備交換
事業の背景・住民意見の反映	斎場改修工事後13年が経過し、老朽化による施設の不具合が発生している。また生活様式や新型コロナウイルス感染拡大により、建設時に想定されていない要望が寄せられている。また今後火葬件数急増が見込まれることから、日当りの火葬数の増加に対応可能な施設改修を行う。
事業の評価と改善 (R3→R4)	公共施設総合管理計画を基に、R3年度から4か年計画で火葬炉について修繕を順次実施して行く。しかし今後火葬件数急増が見込まれることから、日当りの火葬数の増加に対応可能な施設改修が急務となっている。

●事業計画 (単位：千円)

		令和5年度	令和6年度	令和7年度	計
事業内容	・斎場 予約システム導入		・斎場 建築物調査・設計	・斎場 改修工事	
	事業費	6,100	11,500	46,000	63,600
財源内訳	国補				0
	防衛				0
	県補				0
	市債			34,500	34,500
	財繰				0
	負担				0
	小山寄付	1,444	2,723	2,723	6,890
	その他				0
一般	4,656	8,777	8,777	22,210	

事業整理シート

事業名	衛生センター施設修繕整備事業	整理番号	5505-010			
所管	広域行政組合 衛生センター	予算款項目	広域行政組合 一般会計	3	2	2

●事業の種類と位置付け

事業期間	2011年度 (平成23年度)	～	2028年度 (令和10年度)	根拠法令・要綱等	廃棄物の処理及び清掃に関する法律
基本計画における位置付け	施策番号:	5-5-5	施策名:	衛生センターの整備	
	関連施策:	7-7-2	施策名:	広域行政体制の充実・強化	
個別計画での位置付け	衛生センター長寿命化計画				
SDGsでの位置付け	目標6	安全な水とトイレを世界中に			
	目標11	住み続けられるまちづくりを			
国土強靱化計画における位置付け	f-3	汚水処理施設等の長期間にわたる機能停止			

●事業の内容

目的	衛生センターの主要装置の整備(修繕)を行うことで、施設の延命を図る。
対象	御殿場市民、小山町民
手段	高濃度臭気用生物脱臭ブロワ交換修繕、ろ過器整備修繕、極低濃度水洗脱臭塔整備修繕、曝気槽散気管装置ディフューザー交換修繕
令和3年度末までの事業実施状況	給泥ポンプ及び汚泥ホッパー駆動機交換の修繕を実施したことにより、良好な機械装置の環境を保ち、公害防止協定の排出基準値を遵守した。
事業の背景・住民意見の反映	施設稼働後37年が経過し、経年的な消耗が著しく、機械設備、各槽等の老朽化に対応するため補修整備を行う。施設更新計画検討の時期だが、2015年(平成27年)に施設の躯体調査を行った結果、躯体の健全性は保たれているとの調査結果から、更なる施設の延命化を図るため、今後、機械設備等の修繕整備を行う必要がある。
事業の評価と改善(R3→R4)	精密機能検査に基づき、施設の老朽化及び経年的な消耗に対し、劣化状態と修繕内容の優先順位を見直し、適時、適切に改善を行っていく。

●事業計画 (単位：千円)

		令和5年度	令和6年度	令和7年度	計
	事業内容	・高濃度臭気用生物脱臭ブロワ交換修繕 ・ろ過器整備修繕	・極低濃度水洗脱臭塔整備修繕	・曝気槽散気管装置ディフューザー交換修繕	
	事業費	17,600	14,000	13,200	44,800
財源内訳	国補				0
	防衛				0
	県補				0
	市債				0
	財繰				0
	負担				0
	小山寄付	4,607	3,664	3,455	11,726
	その他				0
	一般	12,993	10,336	9,745	33,074

事業整理シート

事業名	ごみ焼却施設周辺整備事業	整理番号	6601-030			
所管	広域行政組合 資源循環課	予算款項目	広域行政組合 一般会計	3	2	1

●事業の種類と位置付け

事業期間	2015年度 (平成27年度)	～	2035年度 (令和17年度)	根拠法令・要綱等	ごみ焼却施設の建設及び操業に関する合意書
基本計画における位置付け	施策番号:	6-6-1	施策名:	都市計画道路・幹線道路の整備推進	
	関連施策:	6-6-2	施策名:	生活道路の整備	
個別計画での位置付け					
SDGsでの位置付け	目標11	住み続けられるまちづくりを			
	目標12	つくる責任 つかう責任			
国土強靱化計画における位置付け	f-4	地域交通網の長期間にわたる機能停止			

●事業の内容

目的	ごみ焼却施設の周辺地区である板妻区及び神場区への地域振興策として、道路、河川等の公共工事を実施する。
対象	板妻区及び神場区の住民
手段	地元区の要望に基づき、広域行政組合が御殿場市に委託して道路、河川等の公共工事を実施する。
令和3年度末までの事業実施状況	平成27年度から、板妻区及び神場区の要望に基づき、道路河川課に委託して、道路改良工事、生活道路舗装工事及び側溝改修工事等を順調に実施している。
事業の背景・住民意見の反映	ごみ焼却施設建設及び操業に関する基本協定書に基づき、地元区との定期協議会で内容を協議し地元区の要望に即した公共工事を実施する。
事業の評価と改善 (R3→R4)	毎年度、地元区と協議し、要望箇所を見直し、関連する都市計画道路(神場・板妻・印野線)の工事の進捗等を考慮して、効率的な工事を実施している。

●事業計画 (単位：千円)

		令和5年度	令和6年度	令和7年度	計
	事業内容	道路整備・河川改修工事	道路整備・河川改修工事	道路整備・河川改修工事	/
事業費		30,000	30,000	30,000	90,000
財 源 内 訳	国補				0
	防衛				0
	県補				0
	市債	27,000	27,000	27,000	81,000
	財繰				0
	負担				0
	小山寄付	710	710	710	2,130
	その他				0
一般		2,290	2,290	2,290	6,870